平成３１年１月１０日　　第　４８１　号

防災組合ニュース
THE BOSAI-KUMIAI NEWS

URL　http://nichibou.main.jp/　　日本防災設備協同組合　東京都文京区本郷一丁目１５番６号
電話　０３－３８１３－９６５０〈代〉　　FAX　０３－３８１３－９４６０
事務連絡メール　nichiboukyou1@io.ocn.ne.jp　営業連絡メール　nichiboukyou2@dune.ocn.ne.jp

社内回覧

１２月度理事会の概要　・・・・・・・・・・・・　1～4

情　報

◎ 大規模停電時（ブラックアウト）の電源確保対策について　・　5

事務局だより

・組合員情報　・・・　6
・共済制度について　・・・　6
・注文は今後もFAXで　・・・　6

１２月度理事会議事録

召集年月日：　平成３０年１２月　６日（木）
開催日時：　平成３０年１２月２０日（木）

開催場所：　文京区民センター　２階Ｃ会議室
文京区本郷４－１５－１４　☎　03－3813－6731
理事総数：　９人
出席理事数：　７人

（１）理事長挨拶

皆様、本日はご苦労様です。１２月度の理事会を始めたいと思います。この後忘年会がありますので宜しくお願い致します。

（２）業務報告

①　事務局運営・渉外

１１月２２日（木）業務決裁　・・・　広江理事長（会社にて）

１１月２８日（水）東京ガーデンパレス　金子氏　・・　来局
平成３１年賀詞交歓会　打合せ

１１月２９日（木）業務決裁　・・・　広江理事長（会社にて）

１１月２９日（木）東京消防庁　予防部　予防課　副参事
伊藤要様　賀詞交歓会出席依頼の為訪問
広江理事長・竹内事務局長

１２月１０日（月）業務決裁　・・・広江理事長（会社にて）

１２月１４日（金）小出会計　会計診断　・・・　小出副所長

１２月１９日（水）リコーソリューションズ東京（株）池森氏

NAKASIMA　岸本氏　・・・　来局
打合せ

１２月２０日（木）１２月度理事会　文京区民センター

１２月２０日（木）忘年会　　新宿「縁（えにし）」

②　事務局報告

１月　６日（日）東京消防庁「新年出初め式」
東京ビックサイト東展示場東側埋立地

１月　８日（火）（一社）全国消防機器協会　新年名刺交換会
明治記念館　２階「富士の間」

１月　９日（水）三役関連団体新年挨拶廻り
訪問先
東京消防庁予防部・（一財）日本消防設備安全センター
（一社）全国消防機器協会・東京都中小企業団体中央会
（公財）東京防災救急協会・（一社）日本火災報知機工業会・本郷消防署

１月１０日（木）東京都中小企業団体中央会　新年賀詞交歓会
ホテル雅叙園東京　２階「舞扇の間」

③広報　　１２月１０日　「防災組合ニュース」　４８０号　発送
来月は、「防災設備」発刊に向けての準備に入る。
出初め式の出席、写真等は村田理事にお願いする。

④教育

ＣＡＤの講習を考えている。講習の日程は早急に決め連絡したい。
理事より
消防設備士の準備講習会の開催をしても参加者が少ない。

希望する準備講習内容をアンケートをとって、決めたらどうか、との提案があった。
消防設備士準備講習会だけではなく、支部会でも話題が出た、技術者講習の開催も併せて考えてみてはどうかとの意見も出た。

⑤福利厚生・企画

村田理事の紹介で会社の福利厚生をサポートする会社「ＤＹＭ」のスタッフが出席し、福利厚生に関するサービス内容の説明及びプレゼンテーションがあった。
この事案については今後検討。
その後、古木副理事長より、忘年会の参加者の人数の報告及び会場の確認があった。

⑥財務・共同購買

１１月の売上は、前年をオーバーする事が出来た。
今後の売上を少しでも上乗せできるようにするため、新たな商品として、「住宅用・リチウムイオン蓄電池システム」や、作業をアシストする「ワーキングパワースーツ」の、２点の商品が、水落課長より紹介があり１月の防災組合ニュースにカタログを同封するとの事であった。

⑦研究開発部会

理事長より

ガス漏れ検知器の開発について、本体とベースはそのままで、ベースのまま脱着する事を前提に考え、ベースの上に座板を、新たに設置を考えてみてはどうかとの提案があった。

⑧青年部

村田理事より

カタログが完成した。良くできていると思う。
アイホンの見学は非常に参考になる見学会であった。
我々の商売につながる事柄もあり良かった。

⑨支部運営促進

今年の支部会、正副支部長会議も全て終了した。
支部会にて提案事項については少しずつではあるが実行している。

⑩その他の事業について
特になし。

（３）議案の審議

１号議案
忘年会について
古木副理事長より業務報告で説明済み。

２号議案
賀詞交歓会について
総合司会は村田理事、開会の辞は、スタートの時、総合司会者に言ってもらう。
挨拶は、東京消防庁・予防部の伊藤副参事、能美防災株式会社の橋爪会長、ニッケイ株式会社の中野顧問の３名の方にお願いする。乾杯は協立エアテック株式会社の宮田取締役営業統括本部長にお願いする。　ビンゴ司会は、古木副理事長、永井理事に依頼。中締めは、武藤理事に依頼した。

３号議案
その他
特になし。

次回理事会予定
平成３１年１月１７日（木）
東京ガーデンパレス　１３：００～１４：３０

大規模停電時(ブラックアウト)の電源確保対策について

昨年の９月６日に起こった北海道胆振地方中東部を震源とした震度７の地震では、道内の約２９５万戸が停電する「ブラックアウト」が発生しました。

「ブラックアウト」は９月８日にほぼ解消されましたが、その後も電力の供給可能量は平時を大幅に下回り、解消後の数日以内に電力需要が増加した場合、再び「ブラックアウト」が発生する可能性が有るため、計画停電を実施する準備を始める事態となりました。

しかし、今や一般家庭に於いては、日常生活用の家電機器への電力以外に、スマートフォンを始めとする携帯端末を充電するための電力確保も重要になっています。特に都市部では電気に依存した機器を使用する割合が多く、災害時での電力不足は最小限にとどめておきたいところです。

その対策の一例として、リチウムイオン電池を使用した蓄電システムが有ります。これは住宅の部屋内に設置し、ＡＣコンセントに差し込むだけで畜電が出来て、蓄電容量５ｋＷｈのタイプですと、充電満量の場合は停電時において下記(※印)の同時使用が約１５時間可能となります。

※停電時に於いて①～④を同時に使用可能な機器の目安(合計：約２６５W)

①冷蔵庫(約５０W)	１台
②ＬＥＤ照明(約５０W)	２台
③液晶テレビ(約１００W)	１台
④携帯電話充電(約７～８W)	２台

現代に於いては食料品・防災用品以外にも、電気の備蓄の重要性も高まっており、上記のリチウムイオン電池式以外にも様々な蓄電システムが有りますので、日頃から停電時の電源確保対策についての検討もしていきたいものです。

事務局だより

退会

東京第１支部　三協防災設備株式会社
代表者　近藤　豊
（敬称略）

◎共済制度について

●消防設備保守・点検・設置工事等の賠償責任保険：
三井住友海上火災保険株式会社（代理店・株式会社サンリビング）と提携しています。請負業者賠償責任保険・生産物（完成工事）賠償責任保険・受託者賠償責任保険がセットになった総合型の保険です。

●自動車共済制度：
関東自動車共済共同組合と提携しています。

●業務災害補償保険（ビジネスＪネクスト）：
三井住友海上火災保険株式会社（代理店・株式会社サンリビング）と提携しています。

◎ ご注文は今後も FAX でお願いします。
組合員の皆様には、いつも FAX でご注文をいただき誠にありがとうございます。ご注文の商品名・数量等間違いのない納品をさせて頂くために、ご注文は今後とも FAX でお願いいたします。